

海外展開に関するアンケート調査結果のお知らせ

経済のグローバル化が急速に進展する中、当組合は平成23年1月に、お取引先を中心に海外展開に関するアンケート調査を実施いたしました。その調査結果をお知らせいたします。

なお、当組合といたしましては、アンケート調査結果を踏まえ、より一層の金融サービスの充実に努めてまいりたいと考えております。アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

◆調査期間 平成23年1月6日～17日 ◆回答企業数 184社 (回答率87.6%)

Q1 現在、海外に事業展開をされていますか

展開している 展開していない

8.2% 91.8%

Q2 海外展開の目的は何ですか (海外展開している方を対象)

市場の開拓 生産コストの削減 原材料、資源の確保

45.3% 20.8% 13.2%

Q3 今後、海外展開をお考えですか

考えている 関心がある 考えていない

12.0% 21.7% 63.0%

Q4 現在、中国市場に関心がありますか

関心がある 関心がない

41.3% 57.6%

Q5 中国市場での事業目的として関心のある事項は何ですか

製品の輸出 製品の輸入 原材料の調達

27.0% 21.1% 12.5%

※その他項目として、「人材の確保」「観光客誘致」「農産物の生産」「技術、ノウハウの輸出」「事務所の設置」などが挙げられています。

Q6 海外展開を考える上で障害となることは何ですか

社員の語学力 海外パートナーの確保 ビジネス慣行、文化の相違 政情不安等のリスク

18.3% 15.9% 13.7% 11.6%



Q7 海外展開にあたり金融機関に求める機能は何ですか

融資制度の充実 商談会の情報提供 セミナー情報の提供 相談窓口の設置

29.7% 23.6% 13.8% 13.3%

特集

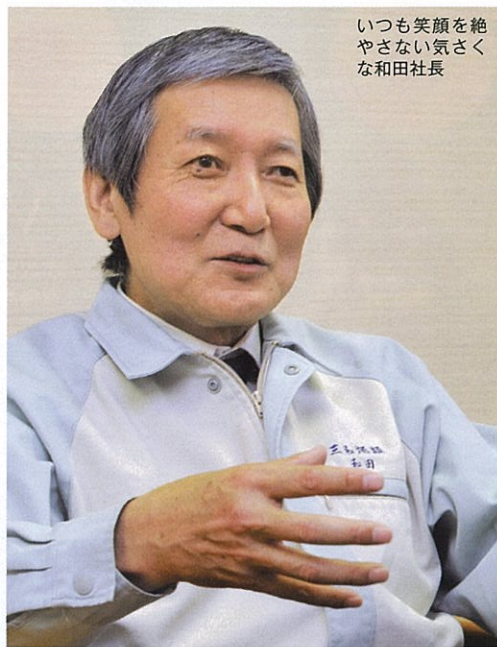
未知を、つくる。

特集：酒類製造業 三和酒類 株式会社……………1
医療業 医療法人 梶原病院……………2
設計業 株式会社 安藤剛設計室……………3
心がうるおう「ちょっと」いいコトいい話……………4
けんしん同友会企業紹介……………5
ウチのカリスマ……………6
けんしんからの「知っ得情報」……………7

未知を、つくる。

まだ見ぬモノをつくるために、まだ歩かない道を行くために、未知へ。

常に変わることなく、品質第一を原点として。



いつも笑顔をやさしい気さくな和田社長

宇佐市同友会
三和酒類 株式会社
代表取締役社長
和田久継氏

DATA
〒 宇佐市山本2231-1
☎ 0978-32-1431

麦焼酎「いいちこ」のCMで全国にもその名を知られる三和酒類は、3つの造り酒屋が統合して誕生。今年で創業53年目を迎えます。

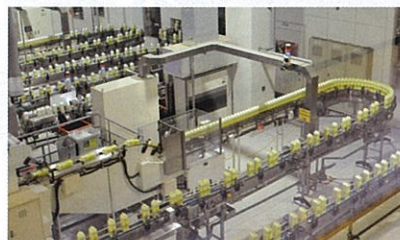
宇佐の大地に吹く爽やかな風、澄んだ水と空気、深いみどりに包まれた醸造場。創業当時から変わらずに守ってきたものは「品質第一」の理念です。

転機は昭和47年、3社の家業から企業への企業統合でした。代々続いてきた酒造りの免許を返上し、永く広く愛される新たな酒造りに挑戦。麦焼酎「いいちこ」、清酒「和香牡丹」、「安心院ワイン」などの優れた商品を次々と産み出してきました。

話題を呼んだ「いいちこ」の美しい広告も昭和59年から展開。じわじわと話題を呼ぶ中で、現場では、それぞれが持ち場でプロの仕事に徹しながら、広告イメージに負けない、安全でおいしい高品質のモノ造りに専念したのです。



左から「西の星」「いいちこ・プラスコボトル」「いいちこ・スペシャル」「特撰いいちこ・日田全麹」「いいちこ日田全麹」。CMで使用されたボルトガルのタイル画の前で



いいちこの紙バックが商品となる工場

20万平米の広大な敷地に佇む社屋と工場。開発、生産から発送までの施設が揃う



「ここまで来れたのは、社員たちの努力はもちろんですが、様々なご縁に恵まれたことです。お客様とご縁、いい社員たちとの縁、いい広告のプロに出会ったのも、この豊かな環境とも、すべてがご縁なんです。技術や設備ももちろん重要ですが、この感謝の気持ちを決して忘れてはならないという、先人たちの教えを今も変わらずに守っています」と語る、和田社長。

極めていくのは素材の良さ、加工（技術）の良さ、そして誠心誠意の、モノ造り三原則。変わるものと、変わってはならないものを見極めながら、宇佐の地で、三和酒類はじっくりゆっくり、熟成されるように歩みを進めています。

人間愛の精神に基づき、地域と人に奉仕。

地域の中核をなす梶原病院は、梶原理事長による外科病院から始まりました。梶原理事長の出身は中津市山国町。軍人の士官学校を卒業後、医学を志しました。丸山町に開院したのは昭和36年、33歳の頃。今のような高度な設備もない時代でしたが、若き医師の技術と奮闘で、地域の人々を救うことができたのです。その後、昭和44年、中殿町に現在の梶原病院をオープン。外科の他、内科、胃腸科、整形外科、泌尿器科を加え、地域の中核をなす病院として位置するほどになりました。

病院だけに留まらず、梶原理事長は、新たに肢体不自由児施設「つくし園」を開設。さらに県下4番目の身障者の療養施設として「修光園」、特別養護老人ホーム「望箭荘」、平成16年に「グループホーム山国」、特別養護老人ホーム「望箭荘やまくに」、そして、成人の重度心身障害児施設「すぎな園」と、次々に開園しました。ここまでの施設を実現させた原動力となっている精神は、梶原理事長が16歳に入った士官学校時代に培われたものだといいます。



全室個室の新型特養「望箭荘やまくに」は温泉付き、足湯は地域にも開放



医療業

医療法人 梶原病院

「厳しかったあの時代に、できないものはないと教えられたんです。障害者も高齢者も、地域の人々が安心して使いやすく、なじみやすい快適な施設を作っていきかけたのです」と梶原理事長。施設の職員には、スマイル、サービス、スピーディの3Sを常に念頭においてお世話をするように指導しているといいます。



「医学は奉仕。どんなに技術が進んでも、人の助けになる奉仕の心を忘れてはいけません」ときっぱり。次は年金で入所できる老人ホームを計画予定。いつまでも若々しい理事長のもと、梶原病院の奉仕は続きます。



医学博士の梶原理事長。もうひとつの顔は自宅に能舞台を持つほどの能楽師でもある

中津下毛同友会
医療法人 梶原病院
理事長・医学博士
梶原 直氏

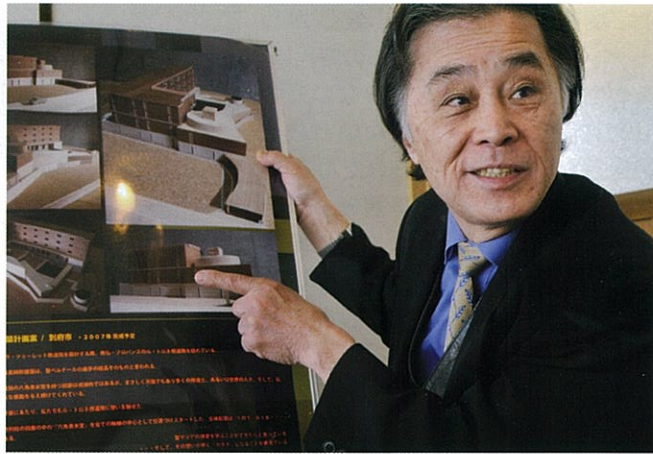
DATA
〒 中津市中殿町3-29-8
☎ 0979-22-2535
診 8:30~17:00
休 日曜、祝日、盆2日、
年末年始
☑ 有り

中津市中心街に
立つ梶原病院

未知を、つくる。

まだ見ぬモノをつくるために、まだ歩かない道を行くために、未知へ。

ベースは、物語する建築と町づくり。



豊後高田市同友会

株式会社 安藤剛設計室
代表取締役
安藤 剛氏

DATA

所 豊後高田市新町936-4
☎ 0978-24-3600
営業 9:00~18:00
休 土曜、日曜
☑ 有り

日本文理大学客員教授
でもある安藤氏。大学
に木造建築のカリキュ
ラムを残したいと語る

年間30万近くの観光客が訪れるという豊後高田市の「昭和の町」。この町づくりに尽力を注いだのが、安藤設計室の建築家安藤氏です。

宮大工の父親の影響で建築を志したという安藤氏が、出身地である豊後高田市に設計室を開業して、今年で30年。本来なら福岡で開業するはずが、豊後高田市の町おこしの会に参加。様々な活動を行っているうちに、そのまま豊後高田市へ定住することになったといいます。そんな活動の中で生まれた「昭和の町づくり」構想。これは、かつて昭和の時代に栄えた商店街の名残りを逆に活かし、誰もが帰って来たいような懐かしい町づくりにしようというもの。建築家である安藤氏は、商店街を検証し200店舗すべてを図面化、データを取っていったといいます。

「過疎化された商店街ですが、一番元気があった昭和の面影はまだ健在。リフォームしていた外壁、看板をはずすだけで、昭和30年代当時の建物がよみがえって来たのです」と安藤氏。当時、町づくりには9店舗だけしか参加していなかったものの、今や60近い店舗が続いて、見事に昭和の商店街が再現されたのです。建築と町づくり。安藤氏にとっては、どちらも魅力的な仕事だといいます。

「私は設計をするとき、住宅でもマンショ

ンでもそこに歴史的な物語を見ます。建築も、通りもストーリーを持っています。そういう意味では私の中で建築も町づくりも同質なんです」

確かに、安藤氏が手掛ける住宅、病院、修道院などは、深い物語を語っているかのような美しさを醸し出しています。今後は、観光の昭和の町から快適に住む町へ。物語は新たな頁を開いていきます。



宮大工の父親が作った実家2階を現在の事務所に。1階の店は、自ら打ったソバ屋として開店する予定



安藤氏の設計によるけんしん高田支店。きっぱりしたフォルムが信用組合の歴史をつむぐ

設計業

株式会社 安藤剛設計室

心がうるおう
「ちょっと」いいコトいい話

column



日常の 小さな遊び

ちかごろ、遊んでいますか？
いえいえ、ゴルフやパチンコや
居酒屋に行くことではありませんよ。
もちろん、仕事をするだけでも、
家族サービスや健康のためなんて
義務ですることともちがいます。
遊びとは、もつとささやかで、豊かなこと。
すなおに、自分の心を喜ばすこと。
たとえば子どもの頃、
遊んでいたことを思い出してみてください。
何のためにも、だれのためにもならなくても、
きつと、無心に好きなことをしていたはず。
ただ、そこに向かうだけで気分はわくわくして、
喜びに満ちていたような…。
そんなワガママで、大好きな遊びのことで。
「老後にとつておく」？…なんて、もつたいない。
時間のない忙しい今だからこそ、
その遊びは、あなたに必要です。
それがなんだったのか、
もう思い出せないほど沈んでしまっていたら、
今からでもおそくない。
ほんの小さな「遊び」を日常の中でつくってあげてください。
ほかの誰にでもなく、あなただけのギフトのために。



文 麻生侑希 写真提供 披村啓二

建材 小売業 **江上トヨー住器 株式会社**

太陽光発電で地球環境に貢献



屋根に太陽光発電を設置した集合住宅

創業当時より、アルミサッシ、ガラス、建材など、地元の建築業者に住宅資材を販売している江上トヨー住器は、地球環境にも大きく貢献しています。これからの住宅のあり方、環境のことを考え、平成11年に県内でも逸早く太陽光発電を導入。厳しい諸条件をクリアし、SSM(シャープ・サンビスタ・メンバー)の認定店となりました。以来、安全でクリーンだけでなく、光熱費のかからないエコの生活を推進。その後も前向きなトライ精神で、風力発電・蓄電システムとトータルで創るエネルギー事業にも取り組んできました。豊富な設置実績と知識もさることながら、地域に根ざしたヒューマンな事業展開を行っています。



〒宇佐市大字江須賀265-1
☎ 0978-38-1573
営業 8:30~17:30
休 日曜、祝日、第2・第4土曜
有



婦人服 製造販売 **有限会社 野村**

日本古来の伝統技術を発信



糸にしたフジを織る若い従業員

自然な風合いと肌触りのよいジャケット素材は、地元で自生するノダフジ。鮮やかな色が重なり合ったベストは古い着物の布、モダンな藍色のスーツは刺子…日本の伝統技術を斬新なデザインで新たな衣服として生まれ変わらせている工房のむら。かずらで籠を作り、古布の裂き織りで衣服を作っていた野村徹さんが目を付けたのは地元で自生するノダフジ。京都で修行し藤織りを習得、以来若い従業員に伝えられています。手間と時間のかかる、ていねいな作業で織られた美しく貴重な衣服は、県外の有名デパートでも展示販売されています。日本人なら人生に一度は着てみたい、世界で唯一の服。夢をのせて山国から発信です。



工房のむら・ギャラリー一橋
〒中津市山国町中摩3596-1
☎ 0979-62-3126
営業 10:00~17:00
休 木曜 有



自動車 運転教習所 **有限会社 中津自動車学校**

安全運転の心と技術を指導



トレードマークの赤い送迎バス

堅苦しく、ちょっと怖いイメージの自動車学校のはずなのに、なぜかこの学校は華やかで楽しそうに見えます。平成9年に就任した相良直子社長は、今までの自動車学校にはない、独自の個性を展開。明るく開放的な施設、若々しく優しい指導員、集中コースや、夏・春休み分割コースなどのプラン、そして授業の日が待ち遠しくなるような、楽しい雰囲気。利用者の側に立った細やかな対応が成功して、学校には若い人がたくさん。さらに、相良社長が目指すのは、安全運転研究所のような自動車学校。「この卒業生は事故がゼロといわれるほどの学校にしたいですね」とっこり。この笑顔の元でさらに進化する自動車学校です。



〒中津市大字大新田368-2
☎ 0979-22-3531
営業 9:00~20:30
休 火曜
有



菓子 小売業 **有限会社 駄菓子屋の夢博物館**

夢を乗せて、思い出を乗せて



昭和の茶の間を見事再現したコーナー

豊後高田市の「昭和の町」が成功したきっかけとなったのが、小宮裕宣さんが館長を務める夢博物館です。駄菓子屋のコーナーを抜けると、忘れかけていた思い出の玩具たちに迎えられます。普通なら捨てられそうな駄菓子のおまけや、ブリキのおもちゃ、小さなアクセサリー、ぬりえなど、30年間に渡って集められた小宮館長の秘蔵のお宝を展示した博物館。大人たちは子ども時代に返り、子どもたちは未知に喜ぶ。そんな不思議な博物館は年齢を問わず人気の的。中央通りまで足を延ばせば、同じく小宮さんのコレクションが揃う宝来開運館も。夢と開運に会いたいなら、ぜひ昭和の町へ。



〒豊後高田市新町1007-5
☎ 0978-23-0008
営業 9:00~17:00
休 年中無休
有



椎茸 栽培業 **株式会社 村上椎茸農園**

菌床栽培に未来を託して



菌床で育った収穫前の椎茸

椎茸栽培は伐採した原木に種菌を打ち、収穫まで2、3年待つのが普通とされ、雨水や光の具合により、良質な椎茸を作るのはベテランでないと難しいといわれていました。そんな中で村上椎茸農園が挑戦したのが、画期的な菌床栽培です。菌床栽培とは、オガクズに米ぬかなどを混ぜてブロック状にした菌床に菌を入れ栽培する、まだ大分では珍しい栽培方法です。菌を入れてブロックになった菌床が無菌室にはぎっしり。時間差を置いて入った全8室には、椎茸の生長過程がはっきり見とれます。菌を入れてわずか90日でおいしい椎茸が完成。村上椎茸農園の肉厚で優しい味の椎茸は豊かな食の未来を予感させてくれます。



〒豊後高田市堅来3283
☎ 0978-54-2744
営業 8:00~17:00
休 有



ウチの Charisma カリスマ **モノづくりの若きカリスマ**

九州オーテック株式会社
代表取締役社長 岡本茂さん



■会社データ
九州オーテック株式会社
事業内容
自動車の内装部品製造
〒宇佐市大字南宇佐960-2
☎ 0978-37-2656

平成20年に立ち上げた九州オーテック株式会社を率いるのは、岡本茂さん。まだ青年と呼べそうな若きカリスマ社長です。九州オーテックは自動車の内装部品を製造する会社。今はトップとして経営に携わっていますが、昔からモノを作ることが好きで、修理よりも新たなモノを開発する方が好きだとか。子どもの頃からお父様の会社である岡本重工(株)で製造の厳しさを見て育ったせいか、製品に対する目は高く、だからこそ自社製品にもクオリティの高さを求めます。現在、高級車のドアの内張りという特殊技術の製品などを受け持つ九州オーテックですが、「この分野で九州で一番を目指したいんです」と目を輝かせます。もの怖じせず、まっすぐに目をそらさない姿勢は、妥協を許さない、岡本さんの生き方そのものにもつながります。余暇には週に1回バスケットをして仕事とは違う仲間たちとの交流を図り、プライベートを充実させているそう。若きカリスマと共に、若いモノ作り集団の会社は、着実に成長の歩みを進めていきそうです。